

「水辺の環境活動プラットフォーム」に会員登録いただきありがとうございます。
環境省では、水辺・海辺について、これまでの「保全」に加え、「活用」の観点も重視した新たな政策を進めています。
本プラットフォームでは、良好な水環境等の保全・活用に関する行政・企業・団体の様々な情報を月1回程度メールマガジンでお届けします。
また、環境省環境創造室の「公式SNS（Facebook、X、Instagram）」を開設しました！
公式SNSでは、良好な環境に関することや環境創造室が取り組んでいる業務等をより身近に、タイムリーにお届けしていきますので、ぜひフォローをお願いします！

---*◆水辺の環境活動PFメールマガジン*◆◇第9号《号外》*◇*-----

- 【1】良好な環境創出シンポジウム2025～多様な主体の共創による地域の魅力度向上を目指して～を開催します！《事務局》
- 【2】「学ぶ・つながる・行動する：ESDを踏まえた海洋教育オンライントークイベント ～里海づくりの未来に向けて～」で令和の里海づくりを紹介しました！《事務局》
- 【3】「良好な環境を活用した観光推進ウェビナー」を開催しました！《事務局》
- 【4】「良好な環境を活用した観光モデル事業」現地研修会を開催しました！《事務局》
- 【5】持続可能な地域づくりを考えるシンポジウム「水と山に寄り添う暮らし」@滋賀県栗東市に登壇、良好な環境の創出・活用を推進するモデル事業等について紹介します！《事務局》

【1】良好な環境創出シンポジウム2025～多様な主体の共創による地域の魅力度向上を目指して～を開催します！

12月22日（月）に開催する良好な環境創出シンポジウム2025について、基調講演の登壇者とパネルディスカッションのテーマが決定しましたのでお知らせします。
リーフレットも更新しましたのでご覧ください。ぜひご参加ください！

○基調講演の登壇者様

下記の方々にご登壇いただきます。

- ・王子ホールディングス株式会社 OMOグループマーケティング本部
王子の森活性化推進部 部長 齊藤 基三郎 氏
- ・株式会社アスエク 代表取締役 市川 隆志 氏
- ・ガイナレ鳥取、ギラヴァンツ北九州（Jリーグ加盟サッカークラブ）

○パネルディスカッションのテーマ

「多様性と共創から生み出す地域の魅力と可能性」

ファシリテーターとして、和歌山大学 観光学部観光学科 教授 加藤 久美 氏にご登壇いただきます。

■ 開催日時

【日 時】令和7年12月22日（月）13:00～

/WEB

【開催形式】ハイブリッド開催（会場 ）※事前申込制（会場は当日申込可）
 【会場】ベルサール神田 2階イベントホール（会場100名（WEB参加は制限無し））
 【申し込み】 <https://www.club-t.com/fm/pub/common/environment-symp2025>

▽詳しくはこちら

https://policies.env.go.jp/water/waterside-environment/news/pdf/251222_symposium.pdf

2025. 12.22 MON 13:00-18:30
ベルサール神田

良好な環境創出シンポジウム2025
 ～多様な主体の共創による地域の魅力向上を目指して～

シンポジウムプログラム 13:00-18:30
 議題のトピックとセッション、交流会を通して、多様な主体による共創の取組の現状と未来を探ります。
開会挨拶 13:00～ 環境省
基調講演 環境創造室長 森川 室長
 環境創造室長 森川 室長
パネルディスカッション 13:30～ 14:30
 環境創造室長 森川 室長
パネルディスカッション 14:30～ 15:30
 環境創造室長 森川 室長
活動交流会 15:30～ 17:30
 アーティスト・イン・レジデンス型環境教育実践の共有と、アーティスト・イン・レジデンス型活動の推進
フリー交流会 17:30～ 18:30
 「本日の環境創造シンポジウム」の振り返りや意見交換、懇話、懇親の場を設けたいと考えています。お気軽にご参加ください。

【2】学ぶ・つながる・行動する：ESDを踏まえた海洋教育オンライントークイベント～里海づくりの未来に向けて～で令和の里海づくりを紹介しました！

環境省と笹川平和財団海洋政策研究所は、11月5日に「学ぶ・つながる・行動する：ESDを踏まえた海洋教育オンライントークイベント～里海づくりの未来に向けて～」をオンライン開催しました。イベントでは、ESDの視点から海洋教育と里海づくりをどう結びつけるかをテーマに、環境省やOPRIから制度・施策の紹介を行い、奥尻高等学校による藻場再生の探究活動や、小松島西高等学校による企業や全国の高校生と連携した藻場再生活動など、地域に根差した力強く、ワクワクするような実践事例が共有されました。また、参加者から届くたくさんの質問に対して、ご登壇いただいた高校生が語り合うクロストークも大いに盛り上がり、率直な視点と熱意に、海の学びや里海づくりの未来がいつそう楽しみになる時間となりました。環境省からの施策紹介では、戦略的「令和の里海づくり」基盤構築支援事業について実施地域を網羅的に紹介するとともに、とりわけ海洋教育に関連する実施団体の取組を紹介いたしました。今後も、機会あるごとに、里海づくりの周知啓発を行ってまいります！

【3】「良好な環境を活用した観光推進ウェビナー」を開催しました！

良好な環境の保全と観光活用を一体的に進める取組や関係者の裾野を広げることを目的として、2025年11月11日（火）に「良好な環境を活用した観光推進ウェビナー」を開催しました！環境創造室（森川室長）より「良好な環境を活用した観光モデル事業」の趣旨や今後の方向性について説明した後、モデル事業の実施団体である大阪府阪南市と沖縄県大宜味村観光協会から、環境保全と観光の好循環を目指す取組状況について事例紹介をいただきました。続いて、登壇者+環境創造室（武藤補佐）+事務局クラブツーリズムによるトークセッションを通じて、環境と観光を分けて考えない地域づくりの視点、地域内外の多様な主体との連携の進め方、旅行者に伝えたいストーリーのポイントなどについて、意見交換を行いました。

参加者アンケートでは本ウェビナーに参加し、モデル事業への応募意欲が高まったといった前向きなコメントに加え、今後取り上げてほしい具体的なテーマも多く寄せられました。

今後の情報発信などの内容の充実につなげてまいります！

📄 報道発表

https://www.env.go.jp/press/press_01284.html

【4】「良好な環境を活用した観光モデル事業」現地研修会を開催しました！

環境省は、2025年11月13日（木）～14日（金）に「良好な環境を活用した観光モデル事業」現地研修会を開催しました。

岐阜県養老町と三重県いなべ市をフィールドに、観光地域づくりの本質、組織形成のあり方、ナラティブ（物語性）を重視したコンテンツ開発を、現地視察と意見交換を通じて学ぶことを目的として実施し、地方公共団体、観光協会、地域DMO等の幅広い方々にご参加いただきました。

現地では、地域全体の価値を高めていく取組について現地の方々から直接お話を伺いながら、「環境×観光」の観点から地域づくりをどう設計していくかについて議論を深めました。

参加者アンケートでは「行政を巻き込みながら地方創生の交付金を活用する視点」「山の資源の活用や旅の導線を意識した地域づくり」「官民連携組織や拠点施設の運営スキーム」などを自地域に持ち帰りたいというコメントをいただきました。

環境創造室公式SNS（良好な環境推進チーム）では写真も掲載していますので、こちらをご覧ください。

○ 環境創造室公式アカウント

- ・ Facebookページ： <https://www.facebook.com/KankyoQOL>
- ・ Xページ： <https://x.com/KankyoRyoko>
- ・ Instagramページ： <https://www.instagram.com/kankyoryoko/>

【5】持続可能な地域づくりを考えるシンポジウム「水と山に寄り添う暮らし」@滋賀県栗東市に登壇、良好な環境の創出・活用を推進するモデル事業等について紹介します！

令和7年度良好な水環境保全・活用モデル事業実施団体「栗東市観光協会」のモデル事業の一環として、豊かな自然と歴史に育まれた地域づくりの秘訣を探るシンポジウムを開催します。

栗東市の中山間地区集落のひとつで1300年の歴史をもつ「走井（はしり）」。琵琶湖の源流となる金勝山の水と自然と共に歴史が育まれてきました。

近年、過疎化が進む中、地域活性化のため観光事業をきっかけとした関係人口獲得に奔走する集落の活動を事例に、行政、学術機関、NPO、そして地域住民が一堂に会し、持続可能な地域づくりを多様な視点から徹底的に議論します。

環境省のモデル事業として開催される本イベントは、参加無料です。未来の地域社会に関心のある方は、ぜひご参加ください！

■ 持続可能な地域づくりを考えるシンポジウム「水と山に寄り添う暮らし」

【日 時】 2025年12月14日（日） 14:00～16:30（受付開始 13:30）

【会 場】 栗東歴史民俗博物館 研修室（滋賀県栗東市小野223-8）

※オンライン配信はございません。会場へ直接お越しください

【定 員】 80名（先着順）

【参加費】 無料

